

# おサイフの健全性を保つための取り組み

札幌市のまちづくりの方針である

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」での取り組みを紹介

公共施設や道路などの  
都市基盤の再整備や子ども・  
子育て支援など必要なことには  
積極的に投資をしていく一方、  
将来世代に過度な負担を残さない  
健全な財政運営を進めています。



メリハリが効いていて、  
バランス感覚を持った  
おサイフを目指してよ。



## 1 メリハリの効いたおサイフに

より便利で暮らしやすいまちづくりや子ども・子育て支援など、  
必要なことには積極的にお金を使います。

5年分のお金の集め方、使い方の計画である  
中期財政フレームに基づいて、  
おサイフのやりくりを考えています

中期財政フレーム（一般会計）※令和7年度予算反映

		令和5年度予算	令和6年度予算	令和7年度予算	令和8年度見込み	令和9年度見込み	期間合計
歳入	一般財源	5,804億円	5,931億円	6,132億円	6,175億円	6,236億円	3兆278億円
	国・道支出金	3,917億円	3,445億円	3,849億円	3,878億円	4,064億円	1兆9,153億円
	市債	701億円	964億円	855億円	884億円	924億円	4,329億円
	その他	1,953億円	1,829億円	1,559億円	1,720億円	1,391億円	8,452億円
	基金活用額	93億円	247億円	272億円	353億円	309億円	1,273億円
歳出	合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,666億円	1兆3,009億円	1兆2,924億円	6兆3,485億円
	義務的経費	6,049億円	6,367億円	6,750億円	6,946億円	7,097億円	3兆3,210億円
	職員費	1,533億円	1,617億円	1,634億円	1,652億円	1,631億円	8,069億円
	公債費	918億円	926億円	932億円	991億円	1,026億円	4,792億円
	扶助費	3,598億円	3,823億円	4,185億円	4,303億円	4,440億円	2兆349億円
	他会計繰出金	1,100億円	1,155億円	1,176億円	1,157億円	1,171億円	5,759億円
	建設事業費	1,359億円	1,492億円	1,354億円	1,604億円	1,679億円	7,488億円
	その他事業費	3,961億円	3,404億円	3,386億円	3,302億円	2,977億円	1兆7,029億円
	合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,666億円	1兆3,009億円	1兆2,924億円	6兆3,485億円

私たちにも  
できることを考えて、  
実行していかなきゃ。



3～4ページの  
令和7年度予算の  
ポイントを  
もう一度見てみよう！

## 2 持続可能なおサイフへ

市民が安心して暮らせる、必要な行政サービスを続けていくために、  
時代に合った工夫やさまざまな改善などに取り組み、  
持続可能なおサイフづくりを進めています。

市役所の役割や仕事内容を見直し、  
より良い仕組みづくりを  
進めています



民間の力をもっと  
活用するための取り組みも  
進めているんだって。



公共施設  
マネジメントを  
進めます

9～10ページで  
詳しいことが  
わかったね。

## 3 将来世代に過度な負担を残さない健全なおサイフへ

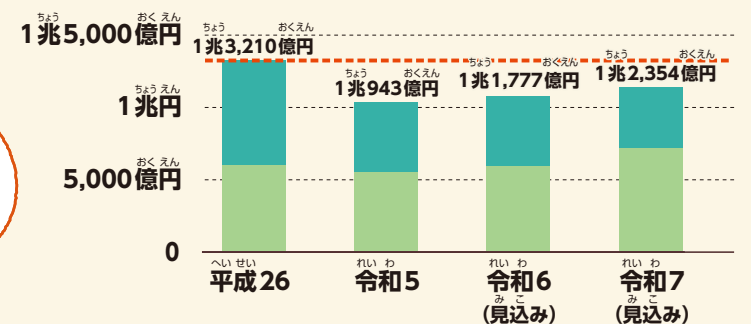
子どもたちが大人になった時に負担が大きくなりすぎないように、おサイフの中身をコントロールします。

将来的に人口が減っても市債残高が  
大きくなりすぎないように  
平成26年度末の水準を上回らないよう、  
適切に管理します



将来を見据えた計画のもと、  
さっぽろのおサイフは  
しっかりやりくり  
しているんだね。

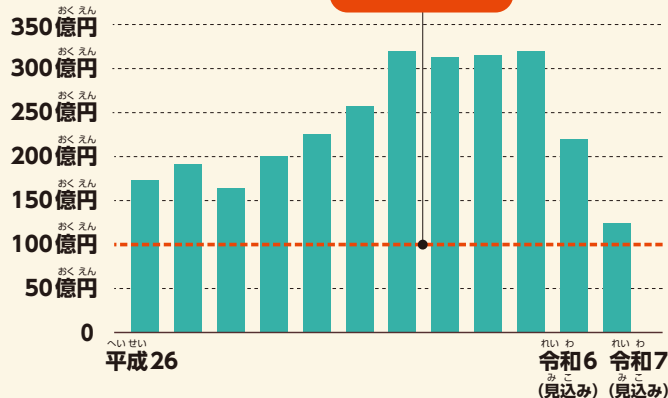
市債残高



※臨時財政対策債を除く、全会計の市債残高

財政調整基金

少なくとも  
100億円以上の  
水準を維持



市の貯金である財政調整基金が  
減りすぎないように、  
収入と支出のバランスを調整します

大雪や災害の  
時のために市の貯金を  
100億円より減らさないように  
しているんだって。

